



《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆熊本地震、ホンダなどの工場停止が長期化 岡山や愛知の拠点に拡大

・熊本地震に伴う自動車メーカーの工場停止が広がっている。ホンダは二輪車などを製造する熊本製作所(熊本県大津町)が被災し、稼働は早くとも17日以降に。部品供給が滞っており、本州にある三菱自動車やトヨタ自動車の工場にも波及。ホンダの熊本製作所は国内唯一の二輪生産拠点で、生産能力は年32万台に上る。

◆4～6月実質GDP2.3%増、民間予測平均 個人消費底堅く成長加速

・4～6月期の日本経済は成長が加速した可能性。日本経済新聞社が集計した民間エコノミストのGDP予測は実質で前期比年率2.3%増。個人消費が下支えし、1～3月期の1.8%増から拡大する見通し。経済産業省が公表した6月の鉱工業生産指数などを踏まえ、民間エコノミストに聞いた。見通しの幅は1.0～2.9%増でいずれも三四季連続のプラスを見込む。

◆放出の備蓄米、52万トン全量完売 小売りや外食で使用

・農林水産省は2025年に放出した政府備蓄米が全量完売したと発表。今年7月下旬までに計52万376トンがスーパーや外食で販売、使用された。農水省は玄米計約59万トンを競争入札や随意契約で売り渡し、精米時に重量が減る分を考慮すると「全量供給された」と説明。25年3月に競争入札による放出を決め、集荷業者に約31万トンを受け渡した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆積水化学の4～6月、純利益3%減 中東情勢で売り上げ増も特損響く

・積水化学工業が発表した2026年4～6月期の連結決算は、純利益が前年同期比3%減の127億円。中東情勢の悪化に伴いナフサ(粗製ガソリン)などを原料とする樹脂製品に対しての駆け込み需要があったが、固定資産売却などに伴って73億円の特別損失を計上。売上高は9%増の3329億円。営業利益は20%増の254億円だった。

◆国の公共工事で「グリーン鉄」活用へ 経産・国交、26年度に数十件

・経済産業省と国土交通省は製造過程で温暖化ガスの排出量を減らす「グリーン鉄」の活用を国の公共工事で始めると発表。2026年度は数十件の工事で鋼材向けの調達を補助する。国が率先して使い始めることで普及につなげる。既に6件の公共工事でグリーン鉄を調達する契約を結んだ。従来の鋼材の価格に比した差額分を補助する。

◆6月着工、6.6万戸 一昨年比では持家3%減

・国土交通省が公表した6月の新設住宅着工戸数は6万6344戸(前年同月比18.6%増)で、3カ月連続の増加。足元では中東情勢の資材調達への影響や、政策金利の引き上げによる消費者マインドの低下への懸念も聞かれている。季節調整済み年率換算値は78万6000戸(前月比3.9%増)で2カ月連続の増加。持家は1万8553戸で3カ月連続の増加。

《 注目商品 》

■パナソニック ハウジングソリューションズ、薄型上貼りリフォーム床材

・1.5mmの薄さによりカッターでの切断が可能で短工期、廃材削減、床暖房・防音直貼り対応などの特性で、市場を牽引してきた同製品のラインナップを拡充。価格を抑えた耐熱仕様の「耐熱コスト優先タイプ」と小型犬の滑り配慮仕様に「滑り配慮非耐熱」を追加。



■ニチベイ、ウッドブラインド

・1本のコードで操作できる「スマートコード式」の操作部やヘッドボックスをコンパクト化して刷新。新たに「クレールタッチ」にも対応し、高窓に適した「電動タイプ マルチIR仕様」が「クレールグランツ」でも選択可能に。光漏れを抑制し意匠性とプライバシー性能が向上。



■アイカ工業 造作風洗面化粧台に3種類の新作ボウル

・造作風洗面化粧台「スマートサニタリー」シリーズに新しい洗面ボウルを追加。キャビネット収納付き「スマートサニタリー」に対応するシームアンダーデザインの深型ボウル、カラーボウルブランド「カラフィ」のベッセルボウルをラインアップ。

